

# 一般質問

12月の定例会では、10・11日に一般質問が行われ、13人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。

## 薬害肝炎への対応は

高木 武子 議員

問：薬害肝炎について訴訟も起こされ、国の対策が考えられているが、本市の実態把握と今後の対策はどうなっているか。

またC型肝炎対策として、肝機能検査など、これまでの取り組みの経過と今後の課題は。

肝炎のウイルス検査について、国の無料化の動きもあり、市民への啓発はどう考えているか。

答：平成14年度から肝炎ウイルス検査の実施と陽性者に肝炎手帳を発行。平成19年11月末現在、受診者は5,118人、手帳は76冊発行。C型肝炎ウイルス陽性者は101人となり、専門医療機関での治療を勧めている。

医療費の助成については、国による市への具体的支援内容が決まり次第、対応していく。

検査の自己負担額は、集団健診で600円、医療機関1,000円となっており、県内一律である。無料化については、今後、国の方針を受けて対応、広報誌等で市民啓発も強化していく。

## 男女共同参画プランの取り組みは

高木 武子 議員

問：男女共同参画プランのうちの「人づくり」において、本市の審議会・委員会等への女性委員の登用率、女性管理職の割合が低い。目標の30%へ向け具体的な取り組みと、考え方は。

今後、男女共同参画計画を推進するため、独立した女性

課の設立、女性センターの設置への考え方はどうか。

また「三原市男女共同参画条例(仮称)」制定の目標は。

答：各種審議会等の女性委員の割合は19%で、まだまだ拡大への取り組みは不足しているが、各委員の任期満了時には、個別に推進をしており、徐々に成果が現れている。また防災の分野で女性消防団員11人も誕生している。管理職の女性登用比率は19.6%であり、今後男女の隔たりなく職場研修等を通じ人材を育成するなかで、目標値の30%に近づけていきたい。

女性課・女性センターの設置については、今後の研究課題としたい。また、条例の制定に向けては、20年度から準備を始めたいと考えている。

## 新庁舎建設計画の現状と課題について

桧山 幸三 議員

問：現庁舎は、築後42年で狭く、耐震性・駐車場の不足・本庁機能の分散など、市民に不便をかけているとの事だが、耐震診断の結果はどうか。補強すればいくらかかるのか。

駐車場不足問題や庁舎分散



女性消防団員による広報活動



リージョンプラザの自主事業「親子たなばた祭り」

化問題は、円一や港町の駐車場の活用はどう検討したのか。

北側の木材会社の土地を購入して、分庁舎の建設も検討する価値はあると考えるかどうか。

総額64億円の計画で34億円は市の負担となるが、厳しい財政状況下で大丈夫か。

答：平成8年の診断結果、IS値が0.31から0.92と診断され、大きな課題がある。補強費用の見積もりはとっていない。

本庁舎には付属する駐車場がないと苦情がある。この計画のために個人所有地を立ち退きして貰うのはいかなものかと考える。

合併特例債の利用により、約半分の30億円は国から財政支援が受けられ、その適用があるうちに建てる方が、将来負担を軽くするので良いと考える。

### IS値とは？

建物の耐震性能を判定する指標で、IS値が0.6以上ある建物は震度6強程度の地震に対しても、倒壊や崩壊する危険性は低いと考えられている。

### 指定管理者導入の成果は

松山 幸三 議員

問：平成15年の法律改正により、指定管理者制度が創設され、公共施設の管理運営を民間事業者等に委託できるようになった。

民間の効率的な方法により財政負担の軽減、サービス向上をめざす制度であり、従来と違って利益をあげることが可能となった。

特にリージョンプラザにつ

いて、市民ニーズの多様化の現在、どんな状況か。またどんな課題があるか。

答：同制度導入の11施設は、おおむね提案時の事業計画書に基づき、各種サービス向上策を実践している。

リージョンプラザを例にとると、プールの祝日営業、日曜祭日の受付業務の実施、南館の健康器具の設置等利便性向上を図っている。自主事業で映画の上映や水中ショー、コンサート等を実施し、民間のノウハウが活かされていると考える。

利用者ニーズの対応として、「お客様の声」聞き取り箱を常設し、利用者の要望に迅速かつ丁寧に対応しており、民間の発想が活かされていると考えている。

### 県道御調久井線の改良は

堀 正登 議員

問：県道御調久井線の江木地域は一部が未改良である。約300戸の住民が生活道として利用している。野間川ダム工事用の大型車両も増加し、危険な箇所となっている。地域住民の安全が最優先だが、岩海・野間川ダムへのアクセス道としても早急な改良が必要と思うがどうか。

答：県道御調久井線については現在、吉田地域(行広)を改良工事中であり、野間川ダム着工に合わせて順調に進められている。

江木地域については、バイパス案で地域の協力を得る方向で、現在鋭意協議を重ねている。是非改良の必要な道路と考えているので、今後とも県と協議をしながら、地域の理解と格段の協力を求めている。

## 久井岩海の観光開発は

堀 正登 議員

問：久井岩海は今年5月、「地質日本百選」に秋吉台・秋芳洞・石見銀山・鳥取砂丘などと共に全国83件の内に登録された。それほど雄大で神秘的な観光資源である。

現状は四分の一程度しか公開されていないが、学術的に価値の高い岩海の周辺を整備し、より多くの観光客を招致し、地域の活性化を図るべきである。

平成24年度完成予定の野間川ダムと併せて、宇根山一帯の観光開発を推進すべきと考えるがどうか。

答：久井岩海は本市の誇る観光資源であり、野間川ダム・宇

根山天文台・家族旅行村と共に貴重な観光資源である。

岩海周辺の散策道や案内標識の整備等は是非必要と考えているが、岩海全体の整備については今後、国、県等関係機関と協議しながら開発を進めたい。

宇根山一帯の観光資源については、貴重な財産と考えているので積極的に対応したい。

## にぎわいのある「まちづくり」を

中重 伸夫 議員

問：休日になると、若者や親子連れは、福山・東広島・広島に遊びに行く。商業・観光・文化環境の整備に努め、中心市街地の活性化を図ることが必要だ。

①アミューズメント施設誘致制度を創設し、映画館やボーリング場建設に向け、関係企業に働きかけてはどうか。

②スケートボード場の建設はどうなっているのか。

③市民向けの観光PRや市民参画型の観光振興を進めてはどうか。

答：①商工会議所や関係団体と連携し、施設の必要性やニーズを把握のうえ、誘致制度創設を含め検討していきたい。

②現在は運動公園第三駐車場を仮使用している。引き続き周辺住民の理解を得ながら兼用施設として活用する方向で検討している。

③市のホームページ等を活用した市民向けの観光PRや施設の利用促進、観光ツアーなどの市民参加型の観光振興を積極的に進めていく。



国指定の天然記念物「久井岩海」